

令和6年度ものづくりDXシステム導入支援強化事業
「DXリアルハッカソン事業」
共同開発企業公募要領

応募受付期間 令和6年5月9日（木）～令和6年6月28日（金）

令和6年5月9日
地方独立行政法人岩手県工業技術センター

1 ものづくりDXシステム導入支援強化事業「DXリアルハッカソン事業」の概要

(1) 事業の目的

第4次産業革命を背景とした技術革新や情報社会が進展する中、本県の北上川流域において進んでいる産業集積の更なる拡充へ向け、ものづくり企業の生産性向上へ向けた取組や高度デジタル技術を有する企業人材育成の支援を強化する必要があります。

そこで、本事業では、地方独立行政法人岩手県工業技術センター（以下「当センター」という。）と県内中小企業等とのDX（デジタルトランスフォーメーション）システムの共同開発を実施することで、高度デジタル技術者の育成や、生産プロセスへのデジタル技術の導入を支援します。

(2) 事業の内容

ア 共同開発企業等の公募

- ・ ワークショップ形式の開発会議（ハッカソン）を活用したシステム開発及びデジタル人材の育成を行う企業等を公募します。
- ・ 申込みがあった企業等を審査し、当センターが共同開発の相手先となる企業等を選定します。

イ 共同開発の実施

- ・ 共同開発企業等及び当センターは、共同で開発を実施します。
- ・ 共同開発企業等の開発者は、共同開発に関連する当センター主催のワークショップ等へ参加することとします。
- ・ 共同開発企業等は、年度末に開催する報告会で、共同開発の実施状況を報告することとします。

2 共同開発の内容

(1) 対象事業者（共同開発企業等）

公募に応募できる事業者は、県内に事業所を有し、開発を実施する能力を有する中小企業者等とします。この公募要領において「中小企業者等」とは、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条第1項各号に掲げる中小企業者で、県内に工場又は事業所を有する者又は理事長が特に認める者とします。

なお、本条件を満たす複数企業等による連名応募も可とします。

(2) 公募する共同開発テーマ

共同開発テーマはDXシステムの開発に関するものとし、令和6年度ものづくりDXシステム導入支援強化事業「DXリアルハッカソン事業」共同開発申込書（様式第1）に応募者が記載するものとします。

(3) 共同開発実施期間

令和6年度ものづくりDXシステム導入支援強化事業「DXリアルハッカソン事業」共同開発可否通知書（様式第2）の事業開始日から令和7年3月14日（金）までとします。

(4) 開発経費

当センターが開発経費の一部を支出します。

(5) 機器の使用

共同開発企業等は開発期間中、開発に必要な設備及び機器を当センターに置くことができます。

(6) 成果の報告

当センター及び共同開発企業等は、当該共同開発を終了又は中止したときは、共同開発に関する経過と結果を記載した令和6年度ものづくりDXシステム導入支援強化事業「DXリアルハッカソン事業」共同開発報告書（様式第3）を作成することとします。

なお、報告に当該共同開発の成果物（製品等）が伴う場合は、双方協議の上、その取扱いを決定します。

(7) 知的財産権の取扱い

本事業において発生した発明等に係る知的財産権は、当センター及び共同開発企業等の貢献度を踏まえて協議の上決定された持分において共有とし、その取扱いについては、原則として地方独立行政法人岩手県工業技術センター共同研究規則の規定に準じて取り扱うものとします。

(8) 秘密の保持

当センター及び共同開発企業等は、当該共同開発により知り得た相手方の秘密（以下「秘密情報」という。）を相手方の事前承諾なしに、第三者に漏洩してはならないとします。ただし、当該情報が次の各号のいずれかに該当する場合は、この限りではありません。

なお、必要に応じて別途秘密保持契約を締結することができます。

ア 既に公知の情報であるもの。

イ 第三者から秘密保持義務を負うことなく正当に入手した情報であるもの。

ウ 当センターが相手方から情報を入手した時点で既に保有していた情報であるもの。

エ 相手方から知り得た情報によらないで独自に創出又は発見したことが書面により立証できるもの。

オ 他の規則等に別段の定めがあるもの。

(9) 成果の公表

当センターは、共同開発の実施期間中に研究内容を第三者に知らせようとするときは、あらかじめ共同開発企業等の同意を得るものとします。

また、当センターは、共同開発の終了後には共同開発の成果を原則として公表することとします。ただし、共同開発企業等の同意が得られない場合は、その全部又は一部を公表しないことができます。なお、共同開発企業等は、共同開発の実施状況等を年度末に開催する報告会で報告することとします。

3 申込み手続き

(1) 募集期間

令和6年5月9日（木）から令和6年6月28日（金） 午後5時まで

(2) 申請書の提出先・お問い合わせ先

地方独立行政法人岩手県工業技術センター企画支援部 担当：及川

住所：盛岡市北飯岡二丁目4番25号

電話：019-635-1115

(3) 提出書類

令和6年度ものづくりDXシステム導入支援強化事業「DXリアルハッカソン事業」共同開発申込書（様式第1）を1部提出して下さい。

なお、複数企業等が連名応募する場合、申込書は1部でかまいませんが、各社分について漏れなく記載してください。

(4) 受入決定と通知

受入決定については、令和6年度ものづくりDXシステム導入支援強化事業「DXリアルハッカソン事業」共同開発可否通知書（様式第2）により通知します。なお、選定した共同開発企業等は当センターホームページ等で公表します。

様式第 1

令和6年度ものづくりDXシステム導入支援強化事業
「DXリアルハッカソン事業」共同開発申込書

令和 年 月 日

地方独立行政法人岩手県工業技術センター理事長 様

申込者 所在地
名 称
代表者

地方独立行政法人岩手県工業技術センター令和6年度ものづくりDXシステム導入支援強化事業「DXリアルハッカソン事業」共同開発企業公募要領に基づき、下記のとおり共同開発を実施したいので申込みます。

記

1 共同開発テーマ

添付書類

別紙 令和6年度ものづくりDXシステム導入支援強化事業「DXリアルハッカソン事業」共同開発計画書

様式第1 別紙

令和6年度ものづくりDXシステム導入支援強化事業
「DXリアルハッカソン事業」共同開発計画書

共同開発テーマ			
実施したい事業内容			
希望事業実施期間		年 月 日～ 年 月 日	
派遣開発者①	フリガナ 氏 名	(姓)	(名)
	年齢（生年月日）		
	所属・役職		
	連絡先	TEL	Fax
	E-mail Address		
	勤続年数		
	最終学歴		
派遣開発者②	フリガナ 氏 名	(姓)	(名)
	年齢（生年月日）		
	所属・役職		
	連絡先	TEL	Fax
	E-mail Address		
	勤続年数		
	最終学歴		

※ 記載欄が不足する場合は、適宜追加してください。

様式第2

工 技 第 号
令 和 年 月 日

(共同開発申込者) 様

地方独立行政法人岩手県工業技術センター
理事長

令和6年度ものづくりDXシステム導入支援強化事業
「DXリアルハッカソン事業」共同開発可否通知書

令和 年 月 日付けで申込みのありました下記共同開発につきましては、実施について承諾いたしません(下記理由により実施について承諾できません)。

記

1 共同開発テーマ

2 派遣開発者氏名

3 事業実施期間

年 月 日～ 年 月 日

4 結果の理由

5 実施の条件

(1) 地方独立行政法人岩手県工業技術センターと(企業名)は、互いに、令和6年度ものづくりDXシステム導入支援強化事業「DXリアルハッカソン事業」共同開発企業公募要領の規定を遵守することとします。

(2) 本事業の実施に当たっては、当センター職員の指示に従ってください。

様式第3

令和 年 月 日

地方独立行政法人

岩手県工業技術センター理事長 様

申込者 所在地
名 称
代表者 職 氏 名

令和6年度ものづくりDXシステム導入支援強化事業
「DXリアルハッカソン事業」共同開発報告書

標記共同開発を終了（中止）したので、下記のとおり報告します。

記

1 共同開発テーマ

2 派遣開発者氏名

3 事業実施期間

年 月 日～ 年 月 日

4 経過及び結果

5 開発成果の取扱い予定

6 感想その他要望等